

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年3月1日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3 4 7 1 5 0 4 3 5 1
法人名	有限会社 日野企画
事業所名	グループホーム プリムローズ草戸
所在地	広島県福山市草戸町5丁目10番11号 (電 話) 084 - 954 - 5575
評価機関名	西日本医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成20年2月20日

【情報提供票より】(20年 2月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 17 年 8 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	8人 常勤 6人, 非常勤 2人, 常勤換算 7.25人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋	木造造り
	1階建ての	1階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円
敷 金	有(50,000 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	入居金 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

(4) 利用者の概要(2月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	5 名	女性	4 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 79 歳	最低	64 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	日野ホームクリニック
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

プリムローズ草戸は、街中から少し入った静かな住宅街で近くに散歩コースの川土手があり、立地に恵まれたホームである。又、まわりに菜園もあり、季節の野菜が食卓に並ぶこともある。当ホーム用に設計された平屋で1ユニットということもあって、全バリアフリーで車椅子でも移動がしやすい。理事や管理者の理解もあり、職員スタッフも働きやすい環境で介護支援専門員を中心に、ゆったりとした和やかな雰囲気のあるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域との取り組みで、年に2~3回ホームを開放して地域の方に行事に参加してもらっている。又、地元の中学生在が職場体験をされ、交流している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	地域住民の一員として参加することで、ホームをより理解してもらい取り組みに期待します。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、2ヶ月に1回開催されておりメンバーは利用者の家族、自治会長、地域包括支援センターの職員等で、タウンソーシャルワーク連絡会で運営推進会議の進め方等を検討している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族は概ね、満足感をもたれているが、それに甘んぜず、創意工夫を望みます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	社会資源を活用され、又交流されることを望みます。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入所者の方、一人ひとりが個性を尊重され、幸せな老後を送られるよう気遣い、気配り、気働きしながらより良い環境をつくれます。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティング等で理念を話し合っている。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の行事に参加し、地域の方々と交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	具体的な改善点の取り組みとして地域に根ざすことを心がけた。		地元の中学校から職場体験に来られ交流した。
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催している。毎回、包括支援センターの職員、地域の方、家族の参加があり、積極的に意見を出してもらっている。		

プリムローズ草戸

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外は行っていない。		日頃から交流することで他の情報やアドバイスを受ける機会ともなるので是非、行なわれることを期待しています。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回「ホームだより」を送っている。入居費用の支払いは、できるだけホームに持参してもらい、入居者の方に合わせてもらう機会としている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置したり、家族が気軽に訪ねて来られやすい雰囲気作りに配慮している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はなく、離職者も病気で退職した以外、変動はない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は限られた人が行っていて、ミーティングの時に伝達している。		研修を受けてスキルアップすることで、介護の質を向上させていくことができる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月に1回、包括支援センターが開催されているネットワーク会に参加して交流している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	本人と家族の方に見学していただいて、相談にのっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	共に過ごしながら一緒に共感あっている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	生活援助プラン表の作成時、一人ひとりの希望や状況を把握しながら検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護計画を家族の意見を聞きながら、ケアマネを中心にスタッフ等と一緒に作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	モニタリングを行ない、現状や今後の対応について話し合っている。		

プリムローズ草戸

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の状況、要望に応じて必要な時に必要なサービスを提供している。		毎日、通院介助の必要な方に付き添い、安心して治療を受けてもらえるように、自主サービスを行なっている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	通院介助、月2回の往診、緊急時の対応等に協力してもらっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取り介護は行っていない。		重度化した場合、本人や家族が看取り介護を行なうことを希望される時には協力医や看護職員、介護職員と協働して取り組まれることを望みます。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いには、十分気を付けている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者、一人ひとりのペースに合わせている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	男性の入居者が多いということもあって一緒にすることが少ない。		男性の入居者の方でも出来るようなポットから皆のお茶を入れたりランチョンマットを敷いたり、女性だと豆の筋を取ったり食器を拭いたり、生活リハビリになる。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望があれば入浴日、時間を合わせている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物を干したり、たたんだり出来ることをしてもらっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの回りが散歩コースになっていて、天気の良い日には外出している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	新しく入居された方がおられ、まだ慣れていない為、最近では施錠するようになった。		外出の癖や傾向をつかんで対応していかれる事を望みます。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を定期的に行なっている。		地域での協力体制をとっていかれるよう期待しています。

プリムローズ草戸

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに心がけている。又一人ひとりの食事量も把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周りに花が生けてあったり、平屋で1ユニットなので動きやすい設計になっていて、自分の居場所がある。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物を持ってきていただいている。		